

2015 年度 卒業式祝辞

梅村学園理事長 梅村 清英

中京大学の卒業式に当たり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。学生を教育、指導してこられた教職員の皆さまに深く感謝いたします。

さて、皆さんの多くが本学の門をくぐったのは2012年の春でした。未曾有の被害をもたらした東日本大震災の一年後、悪夢覚めやらぬ時期でした。「FUKUSHIMA」の事故で、原子力発電の安全性が問われ、国内の五十基すべての運転が停止する事態となりました。

そうした中で、夏にはロンドン・オリンピック、パラリンピックがあり、日本は過去最多のメダル獲得に沸きました。翌年には、東京の2020年開催が決まりました。国際オリンピック委員会（IOC）総会で「TOKYO」と発表された瞬間の感動は忘れられません。

去年は、新国立競技場の設計見直しやエンブレムの盗用疑惑で揺れながらも、これを乗り越えて前に進んでいます。日本全体で立ち向かっており、愛知県でも一部競技誘致の動きがあります。

本学ではこれまで95人のオリンピック選手を出しており、関連のスポーツ・ミュージアム構想が具体化しています。トップアスリートの育成を図っており、このたび、ミズノ株式会社と連携協定を結び、さらに強力に推し進めていくことになりました。

2014年のソチ冬季オリンピックには浅田真央さんら本学関係者が七人も出場しました。浅田さんはショートプログラムで失敗しながらも、不屈の精神でフリーの演技を完璧にこなし、人々を感動の渦に巻き込みました。その情景が、昨日のここのように脳裏に浮かびます。

学術の分野では、日本人のノーベル賞受賞が相次ぎました。2012年の山中伸弥先生に始まり、2015年までに計6名を数えます。このうち赤崎勇先生、天野浩先生らが開発した青色発光ダイオード（LED）は明かりの世界に変革をもたらしました。

モノづくりの中部では3大プロジェクトが進行しています。JR東海のリニア中央新幹線、トヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI（ミライ）」、三菱航空機による国産初のジェット旅客機MRJ（三菱リージョナルジェット）です。

ところが、世界の動きは、そうした明るいものばかりではありません。今一番の懸念は「イスラム国（IS）」による自爆テロの世界各地への拡散です。近隣に目を向ければ、尖閣諸島や竹島をめぐる中国や韓国との摩擦が深刻化しました。今年になり、北朝鮮の水爆実験やミサイル発射など憂慮すべき報道が相次いでいます。

中国経済の減速が気がかりなうえ、原油安が株式や為替の市場における不安要因となっています。安倍政権の経済政策「アベノミクス」も、日本経済の長い停滞からの脱出を図

る決定打にはなっていません。最近は、お金を預けると損をする「マイナス金利」という前代未聞の政策まで日銀が導入する事態となり、資本市場に混乱が起きています。

皆さんの本学での生活、長い人生から見ればほんの一時期に、日本が、世界が、これだけダイナミックに動いています。まさに激動の時代です。だからこそ、皆さんには確かな目で生き抜く力を身につけてもらわなければなりません。

時代を読み解くキーワードがグローバリズムであることは、いまさら言うまでもありません。ヒト・モノ・カネの移動は地球規模となり、日々、拡大を続けています。

IT 革命の深化がそれを後押ししています。今では、様々なモノをインターネットに接続して、自動制御や遠隔計測などを行う「IoT（インターネット・オブ・シングズ）」が進行しています。

パソコンやスマートフォンにより、情報の入手や伝達は瞬時となっています。資金の移動すら、ボタンというか、キータッチ一つで済んでしまいます。危険性すらはらむ恐ろしい世界とはいえ、それが現実です。

そして、高齢社会、少子社会、人口減少社会の到来です。昨年初めの国内の日本人の人口は1億2,616万人で、前年比約27万人の減少、6年連続のマイナスでした。出生数も調査開始以降最少の100万3,554人でした。日本社会はかつて経験したことのない時代へと向かっています。

さて、今度は、目を本学に向けてみます。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」、校訓「真剣味」は不変です。開学60周年という記念すべき2014年に、時代を見据えた長期計画「NEXT10」を策定しました。現在、それに基づくさまざまなプロジェクトを推進しています。

「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」は「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人を育成」しています。中京商業学校（現・中京大学附属中京高等学校）の開校に始まる学園創立100周年を2023年に迎えます。学術、スポーツの両分野で、「中部の私大No.1」を目指しています。

皆さんの中には国家一般職、専門職、地方上級職、教員、警察官など公務員となる人が大勢います。公務員試験で最難関の国家総合職として歩み出す人が今年もいます。もちろん、民間企業への就職もあります。「人間到る処青山あり」と言います。活躍の場所は無限です。

そうした社会での皆さんのこれからの活躍ぶりが、本学の地位確立と同一です。卒業生はすでに12万人を超えており、皆さんはその仲間となります。同窓会はこれまでの各都道府県支部を始め、学校部会、警察部会、県庁職員会など職域別、さらに法学部や文学部など学部別の発足が相次ぐという、うれしい状況が続いています。そして、そこにあるのは絆であり、中京アイデンティティーでしょう。

この時季、桜のつぼみが膨らみ、花開かんばかりとなりました。やがて、春爛漫となりましょう。今日の卒業式は皆さんの可能性をさらに大きく開花させる式典です。広く、深

く学び、多くの友人を作ってください。月日はあっという間に過ぎていきます。「高い志」を持って、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。ご卒業、本当におめでとうございます。